



Show Rotary Cares
ロータリーの心を

あなたの住むところ
私たちの世界
そこに住むすべての人々に



Rotary International

1997-98 R.I. Theme

第2560地区——久保田 昭 治
ガバナー——五十嵐 総 一
会 長——細 井 増 雄
会長エレクト——長谷川 有 美
副 会 長——佐 野 勝 栄
幹 事——西 山 徳 厚
副 幹 事——山 浦 日出夫
S A A——高 森 章 仁
副 S A A——

例 会 日——毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事 務 局——三条信用金庫本店内
例 会 場——TEL 35-3311
事 務 局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	79名中 53名
先々週出席率	87.83%

ヴィジター

三条南より 飯山勝義さん

ゲ ス ト

パストガバナー 吉田昭平殿

先週のメイクアップ

2/5 燕へ

近藤雄介さん、加藤紋次郎さん

2/5 加茂へ 渡辺勝利さん

2/6 吉田へ 渡辺勝利さん

2/9 三条南へ

斎藤弘文さん、古沢富雄さん、
樺山 仁さん、五十嵐昭一さん、
渋谷正一さん、西山徳厚さん、
渡辺勝利さん、捧 賢一さん

2/10 三条北へ 渡辺勝利さん

2/12 加茂へ 渡辺喜彦さん

2/12 燕へ 渡辺勝利さん

2/16 三条南へ

渋谷正一さん、渡辺勝利さん、
渡辺喜彦さん

2/17 三条北へ

石橋育於さん、渋谷健一さん、
渡辺勝利さん

会長挨拶

五十嵐総一会長

2月の第一例会は欠席させていただきまして、長谷川副会長さんに代役を務めていただきましてありがとうございます。

今日のメーキャップの方々をご紹介します。

村上ロータリークラブ吉田パストガバナー、南クラブから飯山さん、ようこそおいでくださいました。ありがとうございます。長野冬季オリンピックも絶頂でございます。

最初は盛り上がりがないように聞いておりましたが、私もちょうど開会式の時、アメリカのダラスにおりまして、ダラスで開会式を見させていただきました。ところがホテルで見たのですが、アメリカの方々はあまり興味がないらしく、日本人の我々だけがワーワー騒いでいるということで、何か呆気ないなと思いました。やはり冬季ということでしょうか、長野という知名度ということもあるのでしょうか、日本ということなのでしょう、そのへんはちょっと判りませんが、寂しい思いがしました。

しかし、昨日のジャンプの団体戦での

金メダルは、涙なみだの感動で、皆さんもテレビで拝見されたと思いますが、通算100個目のオリンピックのメダル獲得は、本当に感動の一場面でした。

皆さんの中にも何かスポーツをやっておられた方もいらっしゃると思いますがやはりスポーツで勝利を得る、というあの感動は本当に本人の言葉にならないうれしさというものが、心に染み、湧いてくるものです。

私も関西の学生大会でフェンシングをやっておりましたので、チャンピオン大会に出場しまして、準優勝ということでは敗れてしまったわけですが、そういう思い出をうかべながら昨日のジャンプを見させていただきました。本当に感動しておりました。

そのスキーで国際奉仕委員会の皆さん方が、交換学生のネーザン君をスキーに連れていかれたそうでございます。ネーザン君はスキーがお上手だと報告を受けました。楽しい残り半年を、日本での滞在を充実させていただければと思っております。

今日わざわざ村上から吉田パストガバナーがお見えになられました理由は、先般2560地区の分割問題のアンケートが出されまして、当クラブとしては理事会をかけて、そのアンケートに対して、群馬との分割問題は時期が早いのではないかと、こうやって新潟の良さ、群馬の良さ、そして交流をもってロータリーという輪が広がるのではないかとということで、むしろ逆に埼玉と拡大していくべきではない

かと、我々は思ったわけで、分割については反対の意見を述べさせていただきました。そうしましたら、反対されたクラブは新潟県側は8クラブと聞いております。群馬県側は1クラブということで、これは分割になることが決定されたようでございます。

その旨を理解していただきたいということで、わざわざ遠いところ時間をさいておいでくださいました。

急遽予定を変更して卓話をお願いしたいと思います。

幹事報告

佐野勝栄幹事

◎三条南ロータリークラブより
第3回チャリティーコンサートご後援のお願いがとどいております。

とき 4月15日(水)

PM7:00~

ところ 三条中央公民館

◎三条ローターアクトクラブより
長久の家合同ボーリング大会のご案内がとどいております。

とき 3月19日(木)

PM7:00~

ところ 三条サカイボール

◎三条ローターアクトクラブより
3月第1例会移動のお知らせがとどいております。(お茶会)

とき 3月5日(木)

PM7:30~

ところ あいせ呉服店2F

ニコニコBOX



五十嵐総一さん

2月4日、欠席させて頂き、長谷川副会長に代役大変ありがとうございました。

吉田パストガバナーをお迎えして。

吉井俊介さん

2月12日・13日の交換学生スキーツアーで、楽しい2日間を過ごしました。館林RCの小磯委員長や新潟RCの小山さん等々なつかしい顔ぶれと会うことも出来ました。

岩井数央さん

吉田パストガバナーを歓迎します。

杉野奎司さん

銅は金に同じと書き銀は金にそむくと書きます。長野のオリンピックに日本選手の活躍を讃えて……。

小林英雄さん

吉田パストガバナーを歓迎申し上げます。

広岡豊作さん

先日VIPさんですばらしいディナーショーを見て来ました。

渡辺宏策さん

吉田パストガバナーを歓迎して。

五十嵐昭一さん

長野オリンピックでの日本チームのジャンピングを現場で昨日見て大変感動致しました。勝利万歳!

加藤紋次郎さん

昨日2月17日満60歳、正真正銘の還暦を迎えました。トッテモ気の若いトシヨリの仲間入りです。

本日は早退させていただきます。

丸山行彦さん

交換学生とのスキーツアーに行ってきました。2日目は素晴らしい快晴で思う存分スキーを楽しみました。吉井さん、荻根沢さんお世話様でした。

高森章仁さん

吉田パストガバナーようこそ三条へおいで頂きました。

佐藤 武さん

オリンピック放送を堪能しております。

渡辺喜彦さん

今日は息子の29歳の誕生日です。

卓話をいただきます吉田パストガバナー御苦労様です。

下田村のイチウの木もなんとか残しそうです。ありがとうございました。

2月18日分 ￥18,000

今年度累計 ￥644,000



卓 話

パストガバナー 吉田昭平殿



皆さん、しばらくでございました。今日は上天気にも恵まれて、久しぶりに三条へ寄せていただきました。ありがとうございました。

実は先程、五十嵐会長さんからお話がでしたが、11日高崎で分割の委員会がございました。

8日の日に地区の増強委員会のコーディネーターということで高崎へまいり、その後上京いたしまして11日に分割の委員会に出たわけでございます。それで一番最初に三条さんへまいるつもりで会長さんに連絡を致しましたが、丁度祝日ということで、今日になったわけでございます。私自身、どうお話をしたいかわかりませんが、別れがたいといいますが、こうした話が主になろうとは思いますが、経緯からお話申し上げたいと思います。

私がガバナーを拝命致しました折、重田年度の最終に、重田直前ガバナーが、「私の分割に対する考え方」という一文

を彼の最後の6月の月誌に掲載されました。

それで、栗山パストガバナーの頃に、先程お話のありました将来の分割ということを見通して、そして群馬との交流、姉妹クラブということを提唱されたわけでございます。

時期尚早でありましたけれど、高崎の何人かの方々がその委員でずっとやってこられたわけでございます。

そしてその提唱に応じて、細渕パストガバナーが大変なご協力で群馬を40クラブにまで、ひきあげられたわけでございます。

私はちょうどガバナー年度でありましたので、群馬県豊岡の群馬の会長幹事会に出席いたしました折、重田さんが歯切れのいい言葉で、諮問委員会において分割が承認されました、という言い方をされ、びっくりしました。

これは、諮問委員会でこれから分割のことを進めていくということについての了承を得たという意味でしたが、群馬ではやはり大変な反響でございました。といいますのは、このことを会長がクラブへ戻って、そのままストレートに伝えていいものかどうか、そのように悩んだ会長もあり、ストレートに伝えた会長もあったことは事実であります。私は伊勢崎へまいりました。地区の長老の牛久保さんという方が伊勢崎で、俺はそんなことを言った覚えはないよ、と言ったそうでございます。ようするに会長幹事会での重

田発言でございます。私は短くではありますませんが、コンセンサスを大事にすべきであると申し上げてまいりました。

これは中条の新潟県の会長幹事会でも同じことを申し上げたつもりであります。そして重田直前ガバナーを分割準備検討委員長ということをお願いして、両県からイーブンに、新潟県ですと栗山さん、大島さん、群馬県ですと細渕さん、重田さん、その方々で地区関係の方々とか新潟と群馬を行ったり来たりしながら、5回の会合を開いたわけであります。

そして、私は年度が終わりましてから9月13日でありましたが、もう一度だけという配慮で分割準備検討委員会を開催し、その議決を私が受けるという形で11月30日に分割の委員会を開催したわけであります。そして全クラブに対しまして委員会で決めていただいた結語、あるいは分割の可否、意見等々を付した文書を配布させていただいたわけでございます。

これは、昨年2月にも各クラブに趣意書といったものを配布致しておりますが締切りが1月の20日、そして1月の最終月中に締めて2月11日の分割の委員会でこのことを正確な数字その他も含めて発表するつもりでございました。ところが11月30日分割委員会で重田さんが向こう側のテーブルにいて、英文の手紙を出して、よく読解していないけれども、リーダーシッププランを分割に際して採用する、あるいは採用できない理由といったような英文の手紙をとりだしたわけでありま

す。

私は数日あとであります、日本支局へ電話をして分割の委員長を仰せつかったけれど、そういう書類についてコピーを送ってほしいということと、それから栗山さんが、場合によっては重田さんに行ってもらわないといけない、という発言がございました。R I へであります。私は支局へそのことの2点を聞いたわけです。当然栗山さんのことについては、私の気構えということで質問したわけですけれども、丁度支局では直接行かれても門前払い、支局を経由しなければならんということでありましたが、第一の質問に對しまして本来ですと毎年の秋に皆さんの賛同を得たものを英文で書類を作成した上で、日本支局で間違いその他ということを含めて精査した上でR I へ送るということで、そうなりますと本年は3月初旬であります、2月あるいは3月の国際協議会で年に一度だけR I の分割の委員会が開かれるのであります。

その時、今回は富山さんが行かれるわけですが、R I の分割の委員会でおたくの地区からこういうものがでて、ということで面接といえますか、そのことについてのトーキング、いろんな質問があるそうです。

一昨年、私と同期の台北のチャンさんというガバナーが、これは分割を致しました。

11月に出して、翌年2月の委員会で決

めてもらった訳であります、彼の場合は台湾後と北京後という源語の若い人達の大勢いるクラブ、それから年配の方の多いクラブという形でのきちんとした分割が成功したようです。

私はそんなことから支局に聞きましたところ、文書がまいりました。不十分であります、訳したところ、1988年に通達した40クラブ以上、1,200人以上という従来の規定は廃棄して、今度は50クラブ以上、1,800人以上という通達と申しますか、そういうものが配布されました。

これは12月15日付で34地区のガバナー宛に発送されたそうです。

私は、当然のことながら今一番大事な時期なのに、これを発表した場合、非常にそれぞれのクラブでの思いを込めた可否についての影響が大きいということで、1月18日に諮問委員会が開かれましたが、諮問委員会でもこのことは発表致しませんでした。

1月12日、現在私は友の諮問ということで、1年間お務めをしておりますが、支局へまいりました。

支局はやはり事務方であり、支局はもう離れていると判断致しました。それはガバナーを通じて竹山さんという現在の理事にも申し上げたはずであります、私は19日にジェームズレーシーというアメリカの本土のR I 会長ノミニのインドの規定審議会の後、東京に来たわけですが、その席上でフロアからの質問というのはあるはずだと認識致して、

第一番に挙手をして、このことをはっきり言おうと思っていたわけであり、

残念ながらレーシーさんのお話が主で出来ませんでした、私は難壇にいる竹山現在の理事に直訴という形ではっきり申し上げました。というのは、10月の末、11月の初めにR I で決まったことを、理事として以前からご存じであったかということ。分割という既成です。私の責任問題もあるのだと、率直に申し上げました。直訴に近い形だったと思います。もっと早くアクションを起こしておられれば、私は重田さんに電話ではっきり申しました。

重田さん、あなたは どうして栗山さんが、細瀬さんがあれだけ努力されたのに今日を全部見通しているのであれば、なぜアクションを起こさなかったのか、と申し上げました。

翌日、重田さんから電話が入りまして、実はあなたの直訴を竹山さんがジェームズレーシー、星野さん、そういう方々に相談して、今回2月23日に竹山さんが直接R I に持参するというお話を引き出した訳であります。このことは私は従来から重田さんにも申し上げておりますが、日本の3分の1のオーストラリア、ここで現在キンロス会長がでておりますが、4人のR I 会長がでております。

日本では68、70何年に、とがさきさんと三笠さんとお二人しかでていません。私はそういう方がおいでになると、日本ほどロータリーに一生懸命やっ

るところはない、と必ず褒めます。

ちなみに平均値を出した数字が正しい訳でありますけれども、アメリカの場合40万6千人位の会員で7,500のクラブがあります。

インドは7万人、そして韓国は4万2千人位だと思います。日本は13万人位ですが、インドの場合はクラブ数で割ると1クラブ37名でしかありません。

韓国の場合は42名、アメリカは54名、日本は58名であります。何で日本が、しかも私は越年をしながら1月20日明日皆さんからの非常に苦痛を伴う各クラブでの結果が入るんだ、それを他の途上国、言い方が悪いんですけど、確か2002年でしたか、オーストラリアで世界大会が開催されますが、ここは96クラブ4,400人の会員しかいません。

97のウルグアイというところは2,300人位しかいません。

そういうところと日本の、しかも日本で一番大きい地区の2560地区を同じたがではめるといのは、洞門だという考えを以前からもっていた訳であります。ジアイ会長の年度に、神戸の研究会で私は第一にこのことをジアイ会長に質問しております。

こうしたことはレーシーさんも好意的な訳という形になった訳であります。そして11日の、これはガバナー事務所で集計した正確な数字でございますが、群馬42クラブのうち中間が2クラブ、反対が1クラブでありました。1クラブの場合

は、投票した数で反対ということでありました。そして中間のクラブも、たとえば高崎シンフォニーみたいところは、出来たばかりのクラブなので地区の皆さんからいろいろな情報をお聞きして、体制が決まれば当然賛成致します、という中間でありました。藤岡クラブの場合は、きちんとした形で中間というご返事をいただいております。

先程会長がおっしゃったように新潟県53クラブのうち44クラブが賛成でございました。そして反対が8クラブ、中間が1クラブであります。さっそく中間豊栄クラブへ出かけました。会長や、会長経験者の方が、たまには群馬へ行きたいね、と可否同数のために反対しただけで、体制に従うということでありました。そして、重田直前ガバナーがあちこち電話をかけられたそうであります。新潟県では見附、白根クラブへかけて、私への返事は両クラブともOKですというものでした。

そこで分割の委員会におきまして、新潟県側の委員であります栗山さん、大島さん、手分けを致しまして反対の佐渡クラブ、雪国、分水、そういったところに個別に連絡をとっていただきました。栃尾もそうでした。

現在まだ返事のとれていない大島さんが行っております魚沼、これも出来たばかりのクラブですが、それと三条さんだけということになったわけです。今日はお願いということで、皆さんのコンセン

サスが第一であります。けっしてこれを強行するということではありませんが、やはり私が直訴して、今度の23日に国際協議会に出席する竹山理事が、それをもっていくという事態になったわけです。これは出来るか出来ないか判りません。

RIの分割の委員会が決定することなので、しかし従来のことといろいろ考えまして、この際出さなければと、と申しますのは、私がガバナーノミニの研修会の国際協議会にまいりました時に、ちょうど当時日本の理事でありました服部れいじろうさんと同席する機会がありました。現在世界中で520いくつかの地区があります。これが600位まで増えると、RIとしても仲々これからの運営について容易ではないと、服部さんは率直に申されました。

それを重田さんにお話し、重田年度の1月の諮問委員会で栗山さんが分割はどうなったかと質問されたわけです。それを受けた形で重田さんが彼の最後の年度の6月の月誌に「分割に対する私の思い」ということを発表されたわけです。

こうしたことを考えますと、私は基本的には世界中で隣のクラブに行くのに飛行機を使って行かなければならないという非常に広大な地区の場合は、これは大体分割に応じるということだそうです。

もう一つは、東ヨーロッパとか、ひとつの地区で言語と文化が違うという地区の場合も、どちらかという分割をしなければならぬということになるそうで

あります。

そうしますと日本は現在34地区であります。神奈川、埼玉といったところはふたつに分割して拡大を図っているという状況です。

現在、四国、京都、奈良、滋賀そして福井は4県のところもある訳でありますけれども、これからのことを考えますと青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島と全部分割を致しております。

ただ、255地区といった栃木、茨城、新潟、群馬は、4県であった時代からふたつに分割して現在2560地区あるわけですが、栃木、茨城は、3年をかけてそれぞれ分割をしたわけです。

私はそういうことがコンセンサスという各クラブの思いを集約する機関がほしいということは充分以上に承知し、その考え方を今まではっきり申し上げてきたわけですが、これからの問題は新潟県は規定は完全にクリアしている訳であります。53クラブ+1、そして2千数百人、群馬の場合は42+1あるいは2ということで、これも人数的には2千人以上を当然クリアしている訳であります。群馬がこの機を外して分割できなかった場合、もう7つ拡大しなければ新潟と群馬は分割出来ないという事態になりますので、私は分割の委員会ではっきり申しました。

大変恐縮ではありますが、どうぞ現在の状況をご認識くださいます。出来るかどうかわかりませんが、そのことも含めまして三条さんのご協力を賜りたいと、

お願いに参上したわけでありました。

新潟県は群馬との友情を大事にしたいという思いとは反対のクラブが3クラブありました。群馬の場合も当然であります。これから全クラブに対しまして、この結果を皆さんが思いを寄せてくださったコメントも付して報告致します。

例会案内

三条RC 3月4日例会 卓話 三堀正純会員

3月11日例会 卓話 近藤雄介会員

メイクアップをどうぞ

三条南RC 3月2日例会 会員卓話

3月9日例会 会員卓話

三条北RC 3月3日例会 会員卓話

3月10日例会 会員卓話

加茂RC 3月5日例会 外部卓話 ダクターリ動物病院 医院長 織田正之殿

3月12日例会 外部卓話 新潟県農業総合研究所 食品研究所 若林センター長

燕RC 3月5日例会 会員卓話

3月12日例会 会員卓話

見附RC 3月5日例会 会員卓話

3月12日例会 会員卓話